

2020（令和2）年度事業報告

第1 総括的事項

2020年度については、持続的かつ安定的な成長を支える仕組みづくりを推進していく中で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも、事業収益は2,038,406千円と、事業計画を4.6%、前年度実績を3.0%上回った。

このうち、公益目的事業として実施した保健事業（公1）は、コロナ禍の影響に伴い、事業収益が1,451,982千円と、事業計画を0.5%、前年度実績を0.8%下回った。

当該事業のうち、健康の保持増進等に係る普及啓発業務については、コロナ禍における普及啓発の在り方を模索しながら、行政や関係団体との連携・協力の下、がんをはじめとする生活習慣病等の疾病の予防や、健康の保持増進に関する普及啓発を図り、健康診断の受診率の向上に努めた。また、「複十字シール運動」を通じて結核予防思想の普及を図るとともに、「ピンクリボン運動」をはじめとするがん征圧活動を積極的に推進し、がん検診受診率の向上に努めた。

健康診断業務については、コロナ禍により中止や延期が相次ぐ中、健診実施機関として適切な感染症対策を行い、受診環境を確保し、業務継続と回復に向けた対策を講じながら、業績の維持向上に努めた。また、新たにPCR等検査業務を立ち上げ、県、県医師会等と連携しながら、新型コロナウイルス対策に貢献した。その他、顧客サービスの向上や精度向上等を目的として進めてきた基幹健診システム及び健診現場システム等の導入が完了した。今後は、効率的かつ効果的に活用し、収益の維持向上や精度向上等を目指すこととする。

2020年度から新たな公益目的事業として実施した温暖化防止事業（公2）は、業務の一部縮小により、事業収益が11,692千円と、事業計画を11.9%下回った。

当該事業については、山口県地球温暖化防止活動推進センターとして、国や県等の民間団体向け補助・委託事業を積極的に受託し、啓発・広報活動を通じて地域における温室効果ガス排出削減等の取組の促進に努めた。

収益事業として実施した環境事業（収）は、食品検査業務を中心には好調に推移し、事業収益が574,732千円と、事業計画を20.6%、前年度実績を11.6%上回った。

当該事業のうち、環境保全業務及び飲用水検査業務は、依然として厳しい受注環境が続く中、水道GLP認定等による検査市場の優位性を確保するとともに、異業種間連携による間接受注に注力し、業績の維持向上に努めた。また、食品検査業務は、コロナ禍の移動制限により主力の県外顧客への影響が懸念される中、デジタル化で変容する渉外活動に適応しながら、顧客ニーズを迅速かつ的確に捉えた新商品の開発等により販路を拡大し、業績の維持向上に努めた。

業務実施報告

(単位：千円)

	計画(A)	実績(B)	前年度実績(C)	B/A(%)
保健事業（公1）	1,459,000	1,451,982	1,463,508	99.5
温暖化防止事業（公2）	13,264	11,692	(9,840)	88.1
環境事業（収）	476,370	574,732	514,926	120.6
合計	1,948,634	2,038,406	1,978,434	104.6

() 内は、環境事業に含まれていたものを再掲

第2 保健事業

2020年度の保健部門の事業収入は、事業計画に対して0.5%、7,018千円下回り、前年度実績と比較して0.8%、11,526千円の減収となった。

健診事業については、4月に緊急事態宣言が発出されてから6月まで事業所の健診控え、住民健診においては上半期全般に渡って、健診中止等の影響により前年度を下回ることとなった。

一方、下半期は、上半期に中止になった事業所を実施するため、スタッフの増員等、処理能力を増強し、健診を追加で組み入れたことや、新型コロナウイルス感染症に関する検査として、PCR検査、抗原定量検査の実施、また関連した職員の派遣業務により収益を確保し、全体的には大幅な減収を抑えることができた。

健康診断業務については、当面、新型コロナウイルス感染予防を徹底して実施することにより、既存顧客の囲い込みを目指すとともに、新型コロナウイルス関連の検査およびワクチン接種業務等、事業所や行政の要望等に対応しながら収入の確保に努めたい。

1 公益目的事業の推進

- (1) がん検診をはじめとする健康診断の受診率向上の一助を目的に、健康診断データ等を集計した事業年報を作成し、ホームページに公開した。
- (2) 本県におけるがん検診の質の向上や、がん検診の評価等を目的とした「がん検診診断症例調査」を行った。
- (3) がんの予防や早期発見に関する知識や技術の普及を目的に、県及び市町の健診担当者を対象とした「山口県生活習慣病健診等従事者講習会」を山口市内で2月に開催した。
- (4) 結核予防思想の普及を目的として公益財団法人結核予防会が行っている「複十字シール運動」の募金活動に取り組むとともに、全国一斉複十字シール運動キャンペーンを実施し、結核予防思想の普及を図った。複十字シール募金については、14,689件、総額2,241千円の募金を確保することができた。
- (5) 県民が健診を身近に感じ、がん検診の受診率の向上を目指す目的で開催してきた、「ピンクリボンイベント」やがん患者支援「リレー・フォー・ライフ・やまぐち」等の啓発イベントが新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。その為、新聞などのマスメディアを通じて、対面を伴わない啓発活動を積極的に行った。
- (6) がんをはじめとした生活習慣病等の疾病的予防と健康の保持増進に向けた普及啓発活動等を実施する県内団体に対して、活動経費の一部を助成した。

2 健康診断の実施

(1) 事業所健診

保健部の事業収入の8割以上を占める事業所健診の事業収入は、事業計画に対して4.4%、53,465千円下回り、前年度実績と比較して3.8%、46,095千円の減収となった。これは、4月から5月にかけての新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響のため、多くの事業所で健診控えがあったことにより、2ヶ月間で前年度実績と比較して131,620千円減収となったことが主な要因である。夏以降、健診班数を1班増やし、未実施事業所の健診を実施してきたが、新型コロナウイルス

対策として3密を避けるため、1日あたりの受診者数も例年より減少せざるを得ない状況であったため、対計画、対前年度比で大幅な減収となった。

(2) 住民健診

住民健診の事業収入は、事業計画に対して36.9%、47,239千円下回り、前年度実績と比較して40.3%、54,555千円の減収となった。これは、全体的に受診者の減少傾向が続く中、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの市町で検診を中止、縮小したことや、一部の市町において受託がなくなったことが要因である。

(3) 施設健診

感染症法に基づき、老人福祉施設等の入所者等を対象とした結核検診は、事業計画に対して、21.7%、1,998千円上回り、前年度実績と比較して22.4%、2,055千円の増収となった。これは、昨年度末に新型コロナウイルスの影響で中止となった検診が、今年度は感染対策を講じながら実施できたことが要因である。

(4) 学校健診

学校保健法に基づく結核・心電図検診等については、事業計画に対して、27.3%、7,717千円下回り、前年度実績と比較して、27.7%、7,865千円の減収となった。これは、県立高校生徒の胸部検診を受注することができなかつたことが要因である。

(5) 検査受託

新生児の代謝異常検査及び、その他の検査受託数の減少により、事業計画に対して、6.1%、1,383千円下回り、前年度実績と比較して、6.2%、1,406千円の減収となった。

(6) 新型コロナウイルス関連検査

新規事業として、行政検査、個人、事業所を対象にPCR検査、抗原定量検査を秋から開始するとともに、検体配送、検体採取のスタッフ派遣業務を受託し、80,405千円の収入となった。

3 その他

(1) 主な設備投資

老朽化に伴い、胸部デジタル検診車1台、胃部デジタル検診車1台、基幹健診システム、血液検査システム、大腸がん検査システム、代謝異常検査機器を更新した。

また、健診現場における情報収集システムを導入し、基幹健診システムと連携することにより健診の品質と精度向上、顧客サービスの向上に繋げた。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、PCR検査機器を1台、抗原定量検査機器を1台導入し、県民の公衆衛生の向上に寄与した。

(2) 精度管理

結核予防会などが実施するエックス線写真の審査会や臨床検査についての精度管理事業に参加し、良好な成績を収めることができた。

2020年度 保健部業務実施報告(件数)

(単位:件)

項目	計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	%(B)/(A)	%(B)/(C)
事業所	定期健康診断 A	3,880	2,655	6,782	39.1 %
	定期健康診断 B	19,750	18,220	20,120	92.3 %
	定期健康診断 C	179,600	179,986	191,825	100.2 %
	再委託健康診断	14,744	17,254	17,900	117.0 %
	健康診断(3部局)	126,532	131,472	131,036	103.9 %
	特殊健康診断	43,418	52,905	54,503	121.9 %
	定期オプション検査	22,102	20,226	26,493	91.5 %
	肺がん検診	2,912	2,973	2,973	102.1 %
	胃がん検診	8,916	7,788	9,115	87.3 %
	乳がん検診	2,850	1,791	3,831	62.8 %
	子宮がん検診	1,847	1,075	2,521	58.2 %
	大腸がん検診	15,611	14,428	16,273	92.4 %
	腹部超音波検査	4,229	3,620	4,496	85.6 %
	協会けんぽ健診	18,856	17,053	18,509	90.4 %
	労災2次健診	309	182	310	58.9 %
住民	特定健康診査	26,540	24,748	26,643	93.2 %
	ストレスチェック	28,045	25,029	27,253	89.2 %
	その他の	9,700	14,556	11,511	126.5 %
	結核・肺がん検診	34,009	23,148	35,882	68.1 %
	胃がん検診	3,954	1,871	4,180	47.3 %
	乳がん検診	3,817	2,553	3,851	66.9 %
	子宮がん検診	3,964	2,535	4,164	64.0 %
	大腸がん検診	11,192	8,409	11,830	75.1 %
施設	特定健康診査	8,251	5,316	12,172	64.4 %
	後期高齢者健診	687	740	1,902	107.7 %
	その他の	2,339	1,133	2,444	48.4 %
学校	合計	4,221	4,314	4,235	102.2 %
検査受託	合計	22,820	15,276	23,041	66.9 %
新型コロナウイルス関連検査	合計	22,002	18,921	20,421	86.0 %
その他	合計	30,168	27,341	32,601	90.6 %

*件数については、実人数ではなく、請求項目として計上された件数となりますので、請求方法により大きく変動することがあります。

*1:訂正 計画(A) 79,600→179,600

*2:訂正 計画(A) 9,428→18,856

2020年度 保健部業務実施報告(金額)

(単位:千円)

項目	計画(A)	実施(B)	前年度実施(C)	%B/A	%B/C
事業所	定期健康診断A	6,900	6,542	10,055	94.8 %
	定期健康診断B	172,180	151,633	165,713	88.1 %
	定期健康診断C	393,526	360,087	376,587	91.5 %
	再委託健康診断	43,728	41,434	43,512	94.8 %
	健康診断(3部局)	129,173	149,965	127,947	116.1 %
	特殊健康診断	95,991	104,246	102,122	108.6 %
	定期オプション検査	54,235	48,971	55,987	90.3 %
	肺がん検診	2,055	1,950	2,141	94.9 %
	胃がん検診	52,943	49,318	54,253	93.2 %
	乳がん検診	9,938	6,762	12,740	68.0 %
	子宮がん検診	5,553	4,655	8,059	83.8 %
	大腸がん検診	15,709	14,444	16,092	91.9 %
	腹部超音波検査	11,556	9,840	11,725	85.2 %
	協会けんぽ健診	127,933	116,509	125,610	91.1 %
	労災2次健診	7,993	4,790	8,028	59.9 %
	特定健康診査	59,982	54,540	60,678	90.9 %
	ストレスチェック	13,000	10,041	12,044	77.2 %
	その他の	21,895	35,098	23,627	160.3 %
事業所計		1,224,290	1,170,825	1,216,920	95.6 %
					148.6 %
※2					
住民	結核・肺がん検診	26,778	18,233	28,297	68.1 %
	胃がん検診	18,434	10,943	19,530	59.4 %
	乳がん検診	17,412	11,695	17,869	67.2 %
	子宮がん検診	18,116	12,795	19,029	70.6 %
	大腸がん検診	14,481	10,868	15,340	75.1 %
	特定健康診査	23,054	11,579	25,643	50.2 %
	後期高齢者健診	4,539	1,773	4,567	39.1 %
	その他の	5,125	2,814	4,980	54.9 %
	住民計	127,939	80,700	135,255	63.1 %
59.7 %					
施設	計	9,211	11,209	9,154	121.7 %
学校	計	28,218	20,501	28,366	72.7 %
検査受託	計	22,686	21,303	22,709	93.9 %
新型コロナウイルス関連検査	計	0	80,393	0	-
その他	計	46,656	67,051	51,104	143.7 %
※3					
131.2 %					
合計		1,459,000	1,451,982	1,463,508	99.5 %
					99.2 %

※1:間接撮影料金からデジタル撮影料金への値上げ等による増収

※2:インフルエンザ予防接種の受注増等による増収

※3:内訳)PCR検査関連 26,710 抗原定量検査関連 40,613 その他スタッフ派遣料等 13,070

第3 溫暖化防止事業

2020年度から新たな公益目的事業として実施した温暖化防止事業（公2）の事業収入は、事業計画に対して11.9%、1,572千円下回った。

これは、県関連事業において、見込まれていた業務の一部が縮小されたことが主な要因である。

また、年度当初からコロナ禍の影響を受け、地域で開催が予定された各種イベント等の中止が相次ぎ、事業計画の大幅な変更を余儀なくされたことから、啓発・広報活動を中心に、急遽、活動の在り方を見直し、多くを非接触型の活動に切り替えながら、地域における地球温暖化防止に係る取組の促進に努めた。

1 啓発・広報活動

コロナ禍の影響により、多くの活動について、地域で開催される各種イベント等への参加・出展がかなはず、対面での活動が制限されたことから、代わりにホームページ上で活動できるよう、オンライン動画等を作成するなど、デジタルコンテンツの拡充に努めた。

このうち、オンライン動画は、地域の普及啓発のリーダーである地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」という）等の協力を得て作成した啓発動画等を配信し、地域への訴求力を高めるとともに、あわせて、推進員活動の活性化に努めた。また、「環境学習クロスワード」や「情報誌」等のデジタル教材を作成・掲載し、誰でも楽しく環境問題や地球温暖化防止について学べる機会を提供した。

2 照会・相談及び助言

日常生活に関する温室効果ガス排出の抑制のための措置等について、県民等からの照会及び相談に応じ、必要な助言を行った。

3 調査・分析及び情報発信

温室効果ガス排出量に関する統計データや「家庭におけるストップ温暖化診断」データ等を活用し、県内的一般家庭における温室効果ガス排出実態の把握・分析等を行うとともに、「省エネ家電利用意向実態アンケート」や「自動車利用状況実態アンケート」等のアンケート調査を行い、関係情報について広く県民等へ発信した。

4 施策協力

「山口県地球温暖化対策実行計画」に基づく省・創・蓄エネ設備への補助等の施策について協力をを行うとともに、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていくこうという政府を挙げての国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発に努めた。

5 その他

「気候変動適応中国四国広域協議会」をはじめ、県や市町等が設置する地球温暖化対策に係る協議会等へ外部委員として参画し、広く啓発・施策への反映を行った。

2020年度温暖化防止事業実施計画（金額）

(単位：千円)

項目	2020年度計画 A	2020年度実績 B	2019年度実績	% (A/B)
国関連事業	3,825	3,825	(4,250)	100.0
県関連事業	9,204	7,867	(5,590)	85.5
その他	235	0	(0)	-
合 計	13,264	11,692	(9,840)	88.1

() 内は、環境事業に含まれていたものを再掲

第4 環境事業

2020年度の環境部門の事業収入は、事業計画に対して20.6%、98,362千円上回り、前年度実績と比較して11.6%、59,806千円の増収となった。

これは、食品検査業務における残留農薬検査及び動物用医薬品検査等による増収が主な要因となっているが、伸び悩んでいた環境事業の伸展も寄与している。

今後も、県内外への積極的な渉外活動を継続的に実施するとともに、顧客ニーズの多様化に伴う対応等を強化し、業務の維持・拡大を図りながら、収入の確保に努めたい。

1. 環境保全業務

事業計画に対して12.8%、9,372千円上回り、前年度実績と比較して13.5%、9,819千円の増収となった。

異業種間連携等により業務の維持・拡大に努めるとともに、官公庁の入札において、大口案件を受注することができた。

2. 作業環境測定業務

事業計画に対して3.8%、914千円上回り、前年度実績と比較して4.9%、1,164千円の増収となった。

既存顧客の継続的受注に努めるとともに、官公庁の入札においても順調に受注することができたことにより、例年以上の業績を確保することができた。

3. 飲用水検査業務

事業計画に対して11.5%、11,247千円上回り、前年度実績と比較して9.0%、8,999千円の増収となった。

異業種間連携等により業務の維持・拡大に努めるとともに、官公庁の入札において、大口案件をあらためて受注することができた。

4. 食品検査業務

事業計画に対して28.4%、76,914千円上回り、前年度実績と比較して15.1%、45,504千円の増収となった。

受注単価の下落基調は続いているものの、残留農薬検査をはじめ新規顧客の獲得や知名度の向上に伴って受注件数が増えたことにより、着実かつ大幅に収入を伸ばすことができた。

5. 簡易専用水道検査

簡易専用水道検査については、例年並みの収益となった。

6. その他

(1) 主な設備投資

機器の老朽化及び別館の新築移転に伴う業務の拡充等により、GCMSMS 質量分析装置、高速液体クロマトグラフ分析計を各 1 台更新するとともに、人件費の削減を目的として全自動器具洗浄機を各 1 台新たに導入した。

(2) 品質管理

環境事業の根幹をなす QMS (ISO9001)、水道 G L P 及び ISO/IEC17025 については、それぞれ外部審査機関により定期審査又は更新審査を受け、重大な不適合も無く、引き続き高い評価を得ることができた。

(3) 精度管理

環境事業の精度管理は、環境省、厚生労働省及び上部関係団体が主催する外部精度管理と、技能区分・対象検査者等を定めて実施する内部精度管理に大別され、年度初めに作成する実施計画書等に基づいて計画どおり実施した。いずれも適正な結果を得ることができ職員の技術水準の確保や検査精度の保持が図れた。

2020年度 環境部業務実施報告（件数）

(単位:件数)

項目			計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	% (B)/(A)	% (B)/(C)			
環境保全	測定	大気測定	ボイラー	60	59	67	98.3 %	88.1 %		
		その他	2	7	10	350.0 %	70.0 %			
		騒音・振動	2	8	10	400.0 %	80.0 %			
	分析	水質	環境水	400	606	450	151.5 %	134.7 %		
			排水・産廃	1,000	1,185	1,070	118.5 %	110.7 %		
			総量規制	640	648	716	101.3 %	90.5 %		
			その他	1,230	1,039	1,264	84.5 %	82.2 %		
	土壌		60	109	53	181.7 %	205.7 %			
	調査	環境評価	アセス	1	8	1	800.0 %	800.0 %		
			調査	10	68	14	680.0 %	485.7 %		
作業環境			粉じん	65	65	60	100.0 %	108.3 %		
			特化物	260	274	276	105.4 %	99.3 %		
			有機溶剤	350	652	585	186.3 %	111.5 %		
			金属	20	27	27	135.0 %	100.0 %		
			事業所	10	10	10	100.0 %	100.0 %		
			その他	40	47	48	117.5 %	97.9 %		
飲用水			水道事業(a+b)	1,100	991	1,280	90.1 %	77.4 %		
			水質管理業務以外(a)	500	521	96	-	-		
			水質管理業務(b)	600	470	1,184	-	-		
			専用水道	650	661	654	101.7 %	101.1 %		
			一般(全項目)	60	123	75	205.0 %	164.0 %		
			一般(一般項目)	2,800	3,171	2,985	113.3 %	106.2 %		
			一般(その他)	280	257	271	91.8 %	94.8 %		
食品			細菌検査	1,451	1,351	1,376	93.1 %	98.2 %		
			その他	669	943	606	141.0 %	155.6 %		
			残留農薬	2,766	4,928	4,077	178.2 %	120.9 %		
			動物医薬	811	1,197	904	147.6 %	132.4 %		
			重金属	288	340	299	118.1 %	113.7 %		
			器具容器包装	0	7	1	-	-		
			おもちゃ	0	0	0	-	-		
			放射能	266	309	330	116.2 %	93.6 %		
			栄養成分	3,578	3,286	4,416	91.8 %	74.4 %		
簡専水			現場検査	600	594	601	99.0 %	98.8 %		
			書類検査	140	125	132	89.3 %	94.7 %		

2020年度 環境部業務実施報告（金額）

(単位:千円)

項目		計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	%(B)/(A)	%(B)/(C)
測定	ボイラー	3,200	3,108	3,603	97.1 %	86.3 %
	大気測定その他	450	1,007	1,387	223.8 %	72.6 %
		3,650	4,115	4,990	112.7 %	82.5 %
	騒音・振動	300	355	554	118.3 %	64.1 %
		3,950	4,470	5,544	113.2 %	80.6 %
環境保全分析	環境水	9,010	12,400	7,847	137.6 %	158.0 %
	排水・産廃	18,210	18,242	16,468	100.2 %	110.8 %
	水質総量規制	6,200	5,295	7,134	85.4 %	74.2 %
	その他	10,660	9,581	11,975	89.9 %	80.0 %
		44,080	45,518	43,424	103.3 %	104.8 %
	土壤	3,170	1,947	2,566	61.4 %	75.9 %
		47,250	47,465	45,990	100.5 %	103.2 %
調査	アセス	1,000	4,070	1,750	407.0 %	232.6 %
	環境調査	20,800	26,367	19,269	126.8 %	136.8 %
		21,800	30,437	21,019	139.6 %	144.8 %
		73,000	82,372	72,553	112.8 %	113.5 %
作業環境	粉じん	2,300	1,708	1,579	74.3 %	108.2 %
	特化物	3,820	3,653	3,635	95.6 %	100.5 %
	有機溶剤	15,900	17,749	16,624	111.6 %	106.8 %
	金属属	1,000	946	985	94.6 %	96.0 %
	事業所	150	148	148	98.7 %	100.0 %
	その他	830	710	779	85.5 %	91.1 %
		24,000	24,914	23,750	103.8 %	104.9 %
飲用水	水道事業(a+b)	43,383	46,754	45,825	107.8 %	102.0 %
	水質管理業務以外(a)	21,561	39,610	19,974	-	-
	水質管理業務(b)	21,822	7,144	25,851	-	-
	専用管道	18,481	18,630	18,289	100.8 %	101.9 %
	一般(全項目)	7,704	14,431	8,384	187.3 %	172.1 %
	一般(一般項目)	20,785	22,086	20,235	106.3 %	109.1 %
	一般(その他)	7,647	7,346	7,515	96.1 %	97.8 %
		98,000	109,247	100,248	111.5 %	109.0 %
食品	細菌検査	10,940	9,800	10,287	89.6 %	95.3 %
	その他	12,320	15,802	10,911	128.3 %	144.8 %
	残留農薬	123,410	174,749	140,304	141.6 %	124.6 %
	動物医薬	51,030	69,851	54,290	136.9 %	128.7 %
	重金属	3,660	5,176	3,668	141.4 %	141.1 %
	器具容器包装	0	148	15	-	-
	おもちゃ	0	0	0	-	-
	放射能	1,730	1,850	2,056	106.9 %	90.0 %
	栄養成分	67,680	70,308	80,649	103.9 %	87.2 %
		270,770	347,684	302,180	128.4 %	115.1 %
簡専水	現場検査	10,250	10,173	10,275	99.2 %	99.0 %
	書類検査	350	342	330	97.7 %	103.6 %
		10,600	10,515	10,605	99.2 %	99.2 %
合計		476,370	574,732	514,926	120.6 %	111.6 %

